

第3学年国語科学習指導案

単元名 人物の気持ちを考えながら読もう

教材名 「サーカスのライオン」 川村 たかし 作 (東京書籍 小学校3年下)

1 単元について

(1) 児童観

この時期の児童は、物語の場面の様子や人物の気持ちを叙述から読み取って音読で表現したり、場面の移り変わりに注意して読み、あらすじをまとめたりする学習を行っている。

2年生時には「名前を見てちょうだい」において、出来事の順序に注意して読み、叙述を基に場面の様子や人物の気持ちを想像することを学習している。しかし、場面の移り変わりや人物の行動や心情の変化を関係付けて読んだ経験はない。そこで、人物の心情の変化について考えさせることについて指導する必要がある。

(2) 教材観

教材文「サーカスのライオン」は、町外れでのサーカス小屋を舞台に、年老いた孤独なライオン「じんざ」と、同じく孤独な少年が登場する。少年はサーカスのライオンが大好きで、じんざの火の輪くぐりを楽しみにしていた。その想いをじんざに伝えたことで、じんざはサーカスへの意欲や生きる気力を取り戻していき、物語の終盤、じんざは火事に巻き込まれた少年を救うために炎に飛び込み、命を失ってしまう。

物語の構成の特徴として、叙述に時間の経過を表す言葉があり、起承転結がはっきりしていて場面の移り変わりをとらえやすい。また、一文が短く主述が明確なので、人物の言動が分かりやすい。表現の特徴としては、じんざの行動を表す文に「うきうき」「ぐうんと」「ぴかぴか」などの擬態語が多く、叙述から人物の気持ちを考えながら読むことに適した教材文である。

(3) 指導観

本単元では、主人公の気持ちの変化を考えさせるための手立てとして、心情曲線を用いる。

また、物語の大事な一文とそれを選んだ理由を本の帯に表現し、友達と交流する活動を通して一人一人の感じ方に違いがあることを気付かせたい。

第一次では、読み取ったことを基に、物語の中の大事だと思う一文とそれを選んだ理由を本の帯に表すことを提案し、学習の見通しをもたせる。

第二次では、学習場面を読み、じんざの気持ちを心情曲線に表させ、その根拠となる大事な一文(じんざの言動を表す)に着目させる。そして、その一文を選んだ理由を書かせることで、じんざの置かれている状況や気持ちの変化をとらえる読み方を学習していく。叙述を基にじんざの気持ちを想像させたり、前の場面と比較させたりして、心情の変化を読み取らせる。

第三次では、物語全体のじんざの心情曲線から、主人公の気持ちが大きく変わる一文を「物語の中の大事な一文」としてとらえさせ、本の帯を作成させる。また、本の帯を見せながら、友達と交流する活動を通して、自分と友達の考え方や感じ方の共通点や相違点を見付けさせる。

2 単元の目標

物語を読み、心情曲線を基に考えたことを発表し合う活動を通して、主人公の気持ちの変化を考えたり、一人一人の考え方の違いに気付いたりしながら読むことができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	1 物語を読んで、主人公の気持ちの変化に着目し、その変化を表す大事な一文を見つけようとしたり、その一文を選んだ理由を述べたりして、心情曲線に表そうとしている。
イ 読む能力	1 物語を読み、場面の移り変わりに注意しながら、主人公の気持ちの変化を考えることができる。【C読むことウ】 2 物語を読み、友達と交流する活動を通して、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。【C読むことオ】
ウ 言語に関する 知識・理解・技能	1 理由を書くために必要な語句を増やすことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ウ)】

4 指導と評価の計画（全8時間）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の読み聞かせを聞き、物語の中で大事だと思う一文とそれを選んだ理由を書き、発表する。 ○ 単元のめあてと学習内容を知る。 ○ 大まかな学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の読み聞かせを聞いたあと、物語の中で大事だと思う一文とそれを選んだ理由を書くことを伝える。選んだ一文に、サイドラインを引かせる。 ・ 本単元では、人物の気持ちを考えながら読み、本の帯を作って、友達と交流する活動をすることを提案する。 ・ 表現方法を理解させるために、教師が作った大事な一文とその一文を選んだ理由を書いた本の帯を見せる。 ・ 児童と話し合いながら、完成までの大まかな計画を表にまとめる。 	アー1 物語の中の大事な一文やそれを選んだ理由を本の帯に書くことに意欲をもっている。 〔ワークシート①の記述・発言〕
二	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面を分け、小見出しを書き、物語の全体をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時を表す言葉に着目させて場面を分けさせる。 ・ 場面ごとに小見出しを書かせ、物語の全体をとらえさせる。 	イー1 時間の経過を基に場面を五つに分け、場面ごとに小見出しを書くことができる。 〔ワークシート②の記述・発言〕
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の人物像をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物のことが分かる言葉や文に線を引かせ、じんざや男の子の性格や置かれている状況などについて想像させる。 ・ 根拠となる言葉や文を基にじんざや男の子の人物像について話し合うようにさせる。 	イー1 登場人物について調べ、人物像をとらえることができる。 〔ワークシート③の記述・発言〕

二	4 5 (本時) 6	<p>○ 場面の移り変わりに合わせて、じんごの心情の変化を読み取る。</p> <p>4時…二の場面 5時…三の場面 6時…四の場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習場面を音読し、じんごの気持ちを心情曲線に表させる。 ・ じんごの気持ちが大きく変わったことが分かる一文を選び、選んだ理由を考えさせることで、じんごの気持ちの変化をとらえさせるようにする。 ・ 選んだ一文やその理由について、心情曲線を基にペアや全体で話し合わせる。 ・ 話し合った事を基にして、心情曲線のじんごの顔の位置を最終的に決めさせる。 ・ 大事な一文や選んだ理由が変わった児童は、書き加えることを告げる。 	<p>イー1 じんごの気持ちを心情曲線に表したり大事な一文や選んだ理由を書いたりすることで、じんごの気持ちの変化をとらえることができる。</p> <p>[ワークシート④⑤⑥の記述・発言]</p>
	7	<p>○ サーカスや周囲の人の様子からじんごの気持ちを想像する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五の場面を音読し、じんごの気持ちを想像して心情曲線に表し、その根拠となった一文を選ばせ、ペアや全体で話し合わせる。 ・ 話し合った事を基にして、心情曲線のじんごの顔の位置を最終的に決めさせる。 	<p>イー1 叙述を基に、じんごの気持ちを想像することができる。</p> <p>[ワークシート⑦の記述・発言]</p>
三	8	<p>○ 「サーカスのライオン」の帯を作り、友達と交流する。</p> <p>○ これまでの学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習を基に、物語全体を通して、じんごの気持ちが大きく変わる大事な一文と選んだ理由を帯に書かせる。 ・ 帯に書いた大事な一文とそれを選んだ理由について話し合う。 ・ 交流の視点を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 選んだ一文を比べる。 ・ じんごの気持ちの変化をどのように書いているか比べる。 ・ 友達の感想を聞いて、似ているところ、違うところ、よいところをワークシートに書かせる。 ・ ワークシートで自己評価をさせる。 	<p>イー2 友達の選んだ一文やその理由と比べ、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。</p> <p>[ワークシート⑧の記述・発言]</p> <p>ウー1 物語を丁寧に読むことで、本の帯に表す言葉が豊かになることに気付くことができる。</p> <p>[ワークシート⑧の記述・発言]</p>

(1) 本時の指導目標

- 少年との交流を通して、火の輪くぐりへの意欲を奮い立たせていくじんごの気持ちの変化を叙

述に基づいて読み取ることができるようにする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に書いた大事な一文とそれを選んだ理由を振り返り紹介する。 ○ 学習計画表で、本時のめあてを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>三の場面のじんざの気持ちのへん化を考えよう。</p> </div>	
2 学習場面を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ じんざの顔を心情曲線に貼ることと、そこに貼る根拠となったじんざの気持ちが表れている一文を付せんに書くことを伝えて、音読をさせる。
<p>3 じんざの気持ちについて自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① じんざの気持ちを心情曲線に表す。 ② 大事な一文を書き抜く。 ③ 一文を選んだ理由を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ じんざの顔を準備し、じんざの気持ちの変化を考えながら心情曲線上に置かせる。 ○ じんざの顔の位置を決めた根拠となる一文を付せんに書かせて、顔の下に貼らせる。 ○ じんざの行動や会話文に着目させる。 ○ 付せんをワークシートに移動させる。 ○ 理由には、その一文からわかることや前の場面と比較しての変化などを書くように促す。
<p>4 じんざの気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ペアで ② 全体で 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに置いたじんざの顔の位置や大事な一文とそれを選んだ理由について話し合わせる。 ○ 前場面との比較に視点をあて、詳細な高さについては検討させないようにする。 ○ 友達の考えを聞いて、心情曲線のじんざの顔の位置を変えたい児童には自由に変えさせる。 ○ 理由の中にじんざの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。 ○ 少年との交流を通して、火の輪くぐりへの意欲を奮い立たせていくじんざの気持ちの変化に気付かせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 イー1 大事な一文を選び、それを選んだ理由をじんざの気持ちの変化にふれながら述べている。 (ワークシート⑤の記述・発言)</p> </div>

5 学習したことをまとめる。

6 本時を振り返り，次時の学習内容を知る。

○ 友達との話し合いを通して，大事な一文を変更したい児童は，新しい付せん書きなおすようにさせる。

○ ワークシートで自己評価をさせ，次時は四の場面について学習することを知らせる。